

みんな考えてまい!

蒲郡のまちづくり

～都市計画マスタープラン～



みかん仙人 すなメリー

大塚から西浦まで、同じまちづくりをするの？



いい質問じゃな。それぞれ土地の条件だとか生活圏が違うで、都市マスじゃあ、地域にあわせ地域別構想をつくるようになつとる。大塚と三谷を「東部地域」、旧蒲郡町と塩津を「中部地域」、形原と

西浦を「西部地域」と3つに分けて、まちづくりの方針を決めたんじゃ。

どうやって決めたの？



まえに、市民の皆さんに協力してもらった「市民アンケート」や「住民会議」での意見を参考にして、地域ご

とに、その土地の利用や施設の整備の仕方、自然環境の保全方法なんかを、都市マスの委員会でもとめたんじゃ。

ふーん。そんじゃ、まちづくりのイメージを教えてくださいよ。



ほいじゃあ「東部地域」から説明しようかのん。蒲郡といやあ海なんじゃが、なかでもここは、海でのレクリエーションと、もとからある地域の文化や伝統、ほれに埋め立てで、新しい都市をつくっていく

感じじゃ。次の「中部地域」じゃが、蒲郡の中心だで、住むとも産業も交通も、もつとようけ集めて、今ある自然や農地は守っていく地域じゃ。そして、「西部地域」では、海と山に囲まれたいい環境のもつと、温泉や歴史、文化など、地域の個性を*ひととならせ、これらを活かした住みやすいまちを作っていく地域ちゅうのがそれぞれのイメージなんじゃ。ちいと難しかったかのん。

計画開発課 ☎66・1142

*ひととならせ=育て



学芸員 小林龍二

「病気には予防が一番」

皆さん、風邪をひいてはいませんか。私たち水族館職員の間では、毎年リレーのように次から次へと風邪がはやりまします。リレーではバトンを落とすと大変ですが、この時ばかりは、第一走者がバトンを

落としてくれないかと願います。

魚の世界でも一匹が病気になる水槽中の全ての魚が病気になるってしまふことがあります。例えば、「白点病」という病気は、人間が風邪をひくのと同じような仕組みで発病します。水温の変化やストレ

ス、ケガ、水の汚れなど、体の調子が崩れるとこの病気にかかりやすくなります。症状は、まさしく病名どおり白い点のような病原虫が体に付き、そこから栄養を奪い、最後には衰弱死させてしまふます。

川の魚、海の魚を問わず発生する病気ですが、寄生虫の種類がそれぞれ違います。そして、風邪のウィルスが空気中を漂って人にうつるように、この病原虫も水中を介し

て他の魚に寄生していきま

す。 こうした時、飼育員は獣医ならぬ「魚医」となり、治療にあたりまます。水温を上げたり、薬を入れたり、時には海水魚を淡水に入れ替えたり、逆に川魚の水槽に塩を入れたり大慌てです。

魚も人間同様、病気の最大にして最善の治療は普段からの「予防」です。飼育員も魚もこの冬、風邪をひかないよう気をつけたいものです。